

空き家にしない考え方

第6回 空き家バンクの話と、自治会へのお願い



定住環境プランナー
中村 周子

移住者と、地域の関係とは

定住環境プランナー中村です。今回は空き家バンクの話です。空き家バンクは、家を貸したい・売りたい【空き家所有者】と、家を借りたい・買いたい【移住希望者】が利用する制度なので、村に住んでいる方にとっては、あまり関係のない話題かもしれません。

しかし、よく考えてみると住宅の賃貸・売買契約が済み、移住者が暮らし始めることになってから大きく関わりがあるのはご近所さんや自治会の方たちです。関係ない話題どころか後々になって大いに関係のある話なのです。そのようなわけで今回は移住者と地域の間を取り持つために行っている取り組みとお願いについて書こうと思います。

空き家バンクの話

まず、大鹿村のホームページなどを見て、空き家バンクの住宅に住みたいという方から連絡があった時に、どのように案内をしているのかを説明します。

空き家の見学希望の連絡があったら【空き家所有者】と【移住希望者】双方と連絡を取り、両者の都合の良い日取りを決め、住宅の現地で顔合わせをします。

わざわざ【空き家所有者】にも来てもらって【移住希望者】と会ってもらうのには理由があります。両者で顔合わせをし、どんな方が分かった上で賃貸・売買契約を行なって欲しいからです。

不動産屋さんでしたら大家さんと移住者の間に立って契約の仲介を行いますが、空き家バンクは契約の仲介を行いません。賃貸・売買の契約については、両者で行なってもらっています。空き家物件は個人の資産なので、役場では契約については介入ができないのです。

空き家バンクから移住の流れ

① 移住希望者から見学申し込み

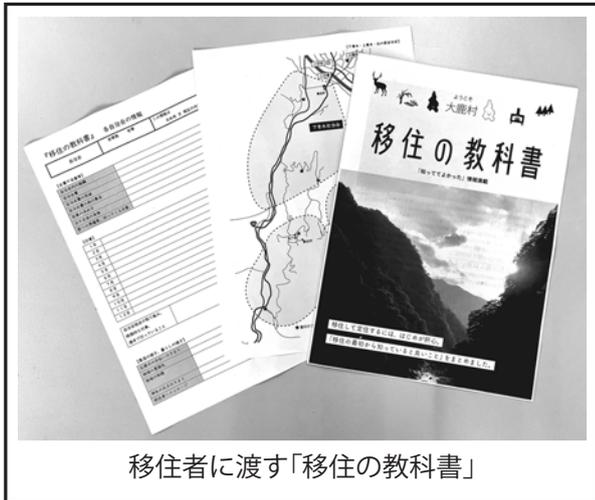
② 空き家所有者と移住希望者の顔合わせ日程を役場が調整

③ 自治会やご近所さんと顔合わせ日程を役場が調整

④ 移住者と地域、所有者が面談

⑤ 移住者と所有者で賃貸売買契約

役場から【移住希望者】へは、住宅の所有者との顔合わせに立ち会うのと、村での暮らしや自治会のご案内をしています。「移住の教科書」や「自治会情報」、「集会所とごみ収集場所の地図」（下写真）を渡して、説明をします。



都市部から来られる方から「自治会に入ったほうがいいのでしょうか」というご質問を受ける事があります。他県には自治会活動がほとんどない地域や、自治会はあるけれど、参加しなくても特に支障のない地域は結構あります。

大鹿村は立地や環境の面から考えて、地域活動やご近所との助け合いが重要な場所だと思います。大鹿村の自治会や地域活動の役割を説明し、自治会に入っただけのように、地域活動に参加していただけるようにのご案内をしています。

これまで、空き家バンク担当と、移住者がスムーズに地域の中に入れるように、地域側も受け入れがしやすいように取り組みをすすめてきました。地域と移住者をつなぐため今後は移住希望者が来村したときに、

自治会にもお声がけし、地域の方と会って話す機会を作りたいと考えています。まずは自治会長さんに連絡をしますが、自治会によっては「ご近所さんと会った方がいい」とか「班の誰かと会った方がいい」という事情もあると思いますので、どなたと面会をするかは自治会にお任せします。**移住者が移住してきて初めてどんな人が来るかわかるのではなく、事前の面談で地域の皆様から地域の様子を伝え、地域活動に協力してもらえるように話していただくことが目的です。**

地域の皆様にはお手間をとらせてしまいますが、ご協力をお願いいたします。

皆様へのお願い

村のホームページの空き家バンクのページに掲載されている空き家物件の写真を見て、不思議だなと思われた方もいるかもしれませんが、実は、空き家バンクの物件は、家の場所が分からないように配慮した写真を掲載しています。不在の家だとわかると、防犯上良くないからです。

ご近所さんや自治会の方は、移住希望者との面談で空き家バンクに掲載した物件の場所がわかると思いますが、**空き家バンクに掲載されている家について質問されても他の方に場所を知らせないようにお願いいたします。また人が住んでいない家でも私有地ですので、敷地を見に行ったり、立ち入ったりしないようにお願いいたします。**